

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(1/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2020年1月31日
- 事業所・事業					
2		事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	ユニテックシステム株式会社
			法人番号		2 0105 0102 4362
3	事業所等の概要	設立年月日	事業者の設立年月日(西暦)	必須	1986年10月8日
4		事業所	事業者の本店所在地	必須	〒110-0005 東京都台東区上野1-10-10 うさぎやビル6階
			事業者ホームページ		<a href="https://www.uts-corp.co.jp/">https://www.uts-corp.co.jp/</a>
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主な事業の概要	必須	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材ビジネス基幹業務システム開発/販売/サポート</li> <li>・各種WEBシステム受託開発</li> <li>・インフラ構築/運用に関するコンサルティング</li> <li>・ハードウェアOEM/量産開発および自社製品開発</li> <li>・ASEAN進出企業向け 勤怠・給与システムの提供</li> </ul>
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	渡辺 正憲
			代表者経歴(生年月日、学歴、業務履歴、資格等)	選択	
7		役員	役員数	選択	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	必須	78名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者の売上高(単独ベース)	必須	874,860千円(2019年2月期)
10		経常利益	事業者の経常利益額(単独ベース)	選択	
11		資本金	事業者の資本金(単独ベース)	必須	2000万円
12		自己資本比率	事業者の自己資本の比率(単独ベース)	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)	選択	
15		上場の有無	株式上場の有無と、「有り」の場合は市場名	選択	
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による計算書類等の作成、③「中小会計要領」の適用に関するチェックリストの活用、④監査役による監査、⑤いずれでもない	選択	
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(2/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
-	資本関係・所属団体			
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択
19	所属団体	所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択
-	コンプライアンス			
20	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当役員の氏名	選択
21		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、「有り」の場合は社内の部署名・会議名	選択
22		情報セキュリティに関する組織体制の状況	情報セキュリティに関する責任者の有無と、「有り」の場合は責任者名・役職 情報セキュリティに関する組織体制の有無	必須
23	個人情報	個人情報の取扱い	個人情報の取扱いに関する規程等の有無と、「有り」の場合は記載箇所	必須
24	守秘義務	守秘義務契約	守秘義務に係る契約又は条項の有無 守秘義務違反があった場合のペナルティ条項の有無	必須
25	従業員教育等	従業員に対するセキュリティ教育の実施状況	従業員に対するセキュリティ教育実施に関する取組状況	必須
26		従業員に対する守秘義務等の状況	従業員に対する守秘義務対応の取組状況	必須
27	委託	委託情報に関する開示	サービス提供に係る委託先(再委託先)の情報開示の可否と、可能な場合の条件等	必須
28		委託先に対する管理状況	自社の個人情報保護指針に対する遵守規定の有無	有 ●F01 PMS 3.2 個人情報保護方針
			委託先(再委託先)の個人情報保護等の状況に関する情報提供の可否と、可能な場合の条件等	可 ●F22-01 委託先評価表 (※利用者の求めに応じ個別に情報提供)
			委託先(再委託先)との守秘義務対応状況	覚書の取り交わし、但し、紙面による覚書の締結が難しい場合、該社の公開するセキュリティポリシーを覚書の代替とする。 ●F23-01 業務委託における個人情報の取扱いに関する覚書
		委託先(再委託先)の管理方法	PMSに規程。委託先管理表と評価表を作成 ●F01 PMS 3.4.3.4 委託先の監督 ●F21-01 委託先/提供先管理表 ●F22-01 委託先評価表	
29	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル、リスクアセスメント結果等の状況と文書名	必須○	基本方針、情報セキュリティマニュアル、リスクアセスメント規程 ●ISM-01-1 情報セキュリティ基本方針 ●ISM-08-2.2 ISMSセキュリティ管理規程 ●ISM-07-1 ISMSリスクアセスメント規程

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(3/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	事業継続に関する規程の整備	事業継続に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名	必須	有 ●ISM-09-2 ISMS事業継続計画
		BCP対応計画及び運用手順等の開示の可否と、可能な場合の条件等		可 ●ISM-09-2 ISMS事業継続計画 ●ISM-F-19 事業継続計画試験報告書 (※利用者の求めに応じ個別に情報提供)
		リスク管理に関する規程等の整備	必須	有 ●ISM-07-1 ISMSリスクアセスメント規程
		勧誘・販売・係争に関する規程等の整備	必須	無し
32	勧誘・販売・係争に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名	必須	無し
		係争に関する規程・管轄裁判所等、係争が生じた際の対応に関する情報を含む文書類の有無と、「有り」の場合は文書名		無し
33	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合はそれらの文書名	必須	無し
		ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無と、「有り」の場合は文書名		無し
-	サービス基本特性			
34	サービス名称	本ASP・SaaSのサービス名称	必須	CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ)
35	サービス開始時期	本ASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2017年6月1日
		サービス開始から申請時までの間の大規模な改変等の有無と、「有り」の場合は改変年月日(西暦)		無し
36	サービスの内容・範囲	本ASP・SaaSのサービスの内容・特徴(500文字以内)	必須	世界初の技術として富士通フロンテック社が開発した”手のひら静脈認証センサー”を打刻デバイスとして用い、ソフトウェア部分を弊社が独自開発した勤怠管理システムです。従来の”指紋認証”よりも高い認証精度を誇り、短時間での本人認証(一人当たり1秒程度)にて出勤・退勤の打刻情報を取得し、リアルタイムにクラウドサーバに情報を蓄積します。また、タイムカードやICカード等の物理的資材の用意が不要で、入退社手続きの効率化や”なりすまし”等の不正防止に貢献します。
		他の事業者との間で行っているサービス連携の有無と、「有り」の場合はその内容		【有り】 ◇認証デバイスとして富士通フロンテック社のセンサーを使用し、ソフトウェア部分を連携 ◇ラクス社の業務アプリケーションである「働くDB」と、個別データベース管理の部分でソフトウェア連携実績有り
37	サービス提供時間	サービスの提供時間帯	必須	24時間365日にてサービス利用可能
38	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述)	必須	基本的には「標準システム」として全社にサービス提供。汎用的と判断し得る追加要望機能については、標準システムを順次バージョンアップ対応
39	移行支援	本サービスを利用する際における既存システムからの移行支援の有無(契約内容に依存する場合はその旨記述)	必須	本サービスに登録すべき各種マスタや従業員情報等は取込み用CSV機能を標準装備し、移行を支援
40	IoTクラウドサービス基本事項	IoTクラウドサービスに対する基本的な考え方。安全性(セーフティ)、連携内容、資産の管理方法、セキュリティ/バイデザイン、調達管理など	必須	手のひら静脈情報の取り扱いについては個人情報に該当するため、情報漏洩に対する配慮が必要となります。コレクトタイムナビは打刻端末と打刻データ管理機器を物理的に分離し、双方の通信ならびにネットワーク上の送受信データを暗号化しつつ、打刻端末には個人情報を保存しない仕組みでセキュアな環境を実現しています。またシステム基盤においてもサーバの冗長化や定時バックアップとDR対策、定期的な脆弱性診断等セキュリティを考慮した設計と運用を行っています。
41	データ	IoTクラウドサービスで収集したデータの利用の有無、内容同意の取得方法など	必須	無し。当該提供サービスの範囲内(ログイン認証、勤怠打刻における本人特定)のみに使用
42	権利関係	IoTクラウドサービスで収集したデータの権利(所有権、使用权、著作権、肖像権など)	選択	本サービスが持つシステム機能については弊社に著作権を所持。その他利用上でサービス上に蓄積される各種情報については、利用者側に所有権等を所持。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(4/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
43	サービスの変更・終了	サービス(事業)変更・終了時等の事前告知	必須○	サービス終了日から遡り、少なくとも1か月以上前には関係者向け告知を行う。
		告知方法	必須	ユニテックシステムのコーポレートサイト上での告知および各ユーザへの電子メール送信については1か月以上前に通知。ユーザからの問合せ確認については電子メールおよび電話対応にて実施する。
44		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し。 ※ただし、弊社提供の別サービスであるweb勤怠システムへの切り替え利用提案は可能
45	契約の終了等	情報の返却・削除・廃棄	必須	契約終了時等の情報資産(利用者データ等)の返却責任の有無と、受託情報の返還方法・ファイル形式・費用等
		情報の削除又は廃棄方法の開示の可否と、可能な場合の条件等		通常は開示しない。 開示要請があった場合は、データ削除方法および端末破棄証明を開示する。
		削除又は廃棄したことの証明書等の提供		通常は開示しない。 開示要請があった場合は、解約通知書、データ削除方法および端末破棄証明を開示する。
46	サービス料金	料金体系	必須	初期費用額 ■初期費用は、下記の「システム設定費用」と「ハードウェア機材購入費」で構成(※金額はいずれも税別) (1)システム初期設定費用: 100,000円 (2)打刻用機材(ハードウェア)購入費用: 利用企業が下記よりいずれかを選択 ①静脈認証センサー単体を購入(PCは自社自社資産を利用): 35,000円/台 ②タブレットPC+センサーを組み込んだ専用一体型端末を購入: 150,000円/台
		月額利用額		■月額利用料は、下記の「月額基本利用料」と「利用従量課金」で構成(※金額はいずれも税別) (1)月額基本利用料: 5,000円/1社あたり (2)利用従量課金: 月次の利用実績人数により下記の単価テーブルを適用 ◇1~100名まで: 300円/人 ◇101~500名まで: 280円/人 ◇501~1000名まで: 250円/人 ◇1001~2000名まで: 220円/人 ◇2001名以上: 200円/人
		最低利用契約期間		無し(※ただし、解約時は1か月前までに申し出)
47	解約時違約金支払いの有無	解約時違約金(利用者側)の有無と、「有り」の場合はその額	必須	無し
48	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、「有り」の場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	【有り】 利用停止希望日の1か月前まで
49	サービス稼働設定値	サービス稼働率の目標値	必須	99.8640%
		サービス稼働率の実績値		対象期間: 2019年1月1日~2019年12月31日 99.9943%
		サービス停止の事故歴		無し。 アプリケーションアップデートに伴うリリース作業による停止(3回)のみ。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(5/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
50	サービスパフォーマンスの管理	システムリソース不足等による応答速度の低下の検知の有無と、「有り」の場合は、検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法	選択	応答速度自動検知は行っていない。CPU、メモリ、ディスク容量監視については自動検知。各閾値越えのタイミングで管理者への警告メールが自動送信される。以降、Web管理画面の目視確認から対処を開始。
		ネットワーク・機器等の増強判断基準又は計画の有無、「有り」の場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要		データ1件あたりのデータ量は一定、かつ送信数は管理画面にて確認可能。上記により現状把握ならびに増分予測を適宜実施。また、NW帯域、各システムリソース上限は定義済みであるため、上記データに基づく増強可否判断を適宜実施。その他、サーバインスタンス/NW経路は全て常時冗長化されており、LBIによる負荷分散も通常運用に組み込まれている。
51	サービス品質	IoT性能対策	必須	システムの性格上、予想を超えるデータ量が想定外の状況で発生することはない。データ量予測に基づき大量のデータ増が見込まれる場合には、クラウドシステムのスケールアップを実施する。この場合の作業見込み時間は1時間以内。
52		認証取得・監査実施	選択	有り。 JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム
53		脆弱性診断	選択	有り。 セキュリティ診断ツールでセキュリティチェックを実施済みならびにセキュリティ対策として以下の対処を実施済み。 ・バッファオーバーフロー対策 ・クロスサイトスクリプティング対策 ・バックドア対策(開発時にバックドア設計を禁止) ・強制的ブラウズ対策 ・クロスサイトリクエストフォージェリ対策 ・ディレクトリトラバーサル対策 ・SQLインジェクション対策 ・OSコマンドインジェクション対策 ・ログインパスワードのハッシュ化 ・HTTPS通信による暗号化
54	バックアップ対策	利用者データのバックアップ実施インターバル	必須	日次1回実施
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)		直近の日次バックアップを7世代、月曜日のバックアップのみ1か月分保持、および毎月1日のバックアップを6か月分保持します。
55	サービス継続	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	VMware仮想基盤によるサーバインスタンス/ストレージの冗長化、IDC設備によるストレージシステム、NW経路の冗長化、LB実装によるWebアクセス経路分散、バックアップシステムを別建屋へ分散。
		DR(ディザスタリカバリー)対策の有無と、「有り」の場合はその概要		IDC設備は激甚対策有(別リージョンバックアップ)、バックアップは別システム別建屋に保持。
56	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019 基幹業務系分野ASPIC会長賞受賞
57	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本サービスに係るSLAが契約書に添付されるか否か	必須	添付していない。
58	契約者数	契約者数	選択	契約企業数: 20社 システム利用人数: 10,000名
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
59	連携	他のサービス・事業との連携状況に関する情報提供	必須	有り。 利用者の求めに応じ情報提供可
60	死活監視	死活監視の有無と、「有り」の場合は死活監視の対象	必須○	有り。 サーバ、ストレージともに自動監視。異常時は管理者宛てに即時メール自動送信にて通知される。NWIについては、サーバ側で異常検知時は上記の通り。ルータ機器およびIDC設備内についてはIDC体制にて24/365監視および異常時は管理者宛てに通知がされる。
61	時刻同期	時刻同期への対応の有無と、「有り」の場合は時刻同期方法	必須	有り。 NTP自動同期を設定。
62	ウイルス対策	ウイルス対策の有無	必須○	ウイルス検出ツールをインストールし自動アップデート有効化により日次アップデートを実施。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。



ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(6/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
63	セキュリティ	管理者権限の運用管理	必須○	有り。 部門長2段階承認にて実施。設定内容はアカウント管理台帳にて管理。	
64		ID・パスワードの運用管理	必須○	利用者のID・PWは利用者側が作成するため、弊社側では特に規定していません。なお、ログインIDはメールアドレス、パスワードは6文字以上の文字列と規定。	
65		記録(ログ等)	利用者の利用状況の記録(ログ等)取得の状況と、その保存期間及び利用者への提供可否	必須○	打刻の記録をログとして取得しています。こちらは利用者がWEBサイトから閲覧可能となっています。打刻ログは破棄しないためいつでも閲覧可能。
			システム運用に関するログの取得の有無と、「有り」の場合は保存期間	必須	・アプリケーション部分: アプリケーションレベルでエラーが発生した場合のログを取得している。保存期間は30日。 ・OS/DB/ネットワーク部分: システムログ、パフォーマンスログ、secureログ、cron自動実行ログ:1か月間保持。 ・WebServerアクセスログ:直近52日分を保持 ・その他、ウイルス検出ツールのウイルス定義アップデート、アプリケーションエラーログ等、個別定義のログ有り。
			ログの改ざん防止措置の有無	必須	有り。 OSレベルのログインは管理者のみ可。管理者登録参照/登録/変更/削除は運用管理部門のみ実施可能。OSレベルのアクセスは管理者かつ弊社社内LANからのみ可能。ならびにアプリケーションレベルではセキュアプログラミングを実施。
66		セキュリティパッチ管理	パッチ管理の状況とパッチ更新間隔等、パッチ適用方針	必須○	・IoT端末:Windows Update自動実行設定。 ・サーバ:不定期実行。適用必須と判断された場合のみパッチ適用を実施する。また適用必須と判断された場合、テスト機にて検証完了後に本番機へ適用する。
67		暗号化対策	暗号化措置(データベース)への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	必須	有り。 ・サーバおよび打刻端末機器に保存されている静脈データは暗号化の上保存・静脈暗号化方式はAES(暗号鍵長 128bit以上)
68		その他セキュリティ対策	その他、特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏えい対策等)	選択	・個人情報である静脈データは打刻端末、サーバの双方にて暗号化ならびにネットワーク上の送受信データについても暗号化される ・打刻端末と打刻データ管理機器は物理的に分離 ・打刻データ管理端末は限定/特定されたオフィス内に設置。アクセスは当該オフィスのIPアドレスからのみクラウド接続を許可
-	ネットワーク				
69	センター側ネットワーク	回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	パブリックなインターネット回線のみを使用。
70		帯域	データ通信速度の範囲、帯域保証の有無	必須	スペックは非公開。実測値は約2Gbps。
71	PC側ネットワーク	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	パブリックなインターネット回線のみを使用。
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲		無し。 PCは、ユーザ様勤怠管理者がオフィス内で行う勤怠管理業務にのみ使用するため、ユーザ様にて用意されたインターネット回線を使用する。
72		推奨帯域	推奨帯域の有無と、「有り」の場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し。 PCは、ユーザ様勤怠管理者がオフィス内で行う勤怠管理業務にのみ使用するため、日常業務の遂行可能な状態であればよい。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(7/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
73	IoT側ネットワーク	推奨(提供)回線	必須	パブリックなインターネット回線のみを使用。
		IoT機器接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲		無し。 IoT接続回線はユーザー様責任において用意して頂く。 ただし回線系に不具合が発生した場合は、当社が調査推進および報告責任を負う。
74		推奨帯域の有無と、「有り」の場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り。 当システムは1人の勤怠打刻毎に送信が実行されるため、1レコード2秒以内のレスポンスが確保できればよい。よって、以下の計算でおおよその必要帯域が算出できる。 ・1レコード=660byte ・往復2秒のレスポンスを想定した場合、片道1秒として660byte/sec。 ・回線スペックの約50%が実行速度と仮定すると、約1.3kB/sec以上の帯域が確保できればよい。
75	セキュリティ	ファイアウォール	必須○	有り。 要所に複数設置し不要なポートは閉鎖している。
76		不正侵入検知	必須	有り。 不正アクセス防止/検知として、管理端末PCについてはIP制限にて実施。 IoT端末に関しては、端末内での静脈データとIDC側のサーバ内静脈データ照合し、照合不一致の場合はアクセス拒否とする。また下位レイヤーにおいてはFWIによる不要ポート閉鎖を合わせて実装している。
77		ネットワーク監視	選択	
78		ユーザ認証	必須○	・ユーザー様勤怠管理者による管理画面へのログイン: メールアドレス、パスワードおよび顧客番号で管理画面にログインする。当該管理業務は管理専用PCからのみ実行可能および当該管理PCは設置場所のIPアドレスからのみアクセス可能。 ・打刻対象ユーザーによる打刻システムへのログイン: 静脈認証を暗号化の上サーバへ送信、サーバ上で既存登録静脈データと照合の上、許可/非許可判定を行う。
79		IoT機器認証	必須○	・勤怠打刻者 1人1回の打刻が都度ユーザ認証を通過する仕様となっている。認証方法は手のひら静脈認証。認証要素および手続きは以下の通り。 →顧客番号、タイムレコーダ番号、タイムレコーダキーの3つで認証を行う→正規のタイムレコーダと認められた場合に、社員の存在確認、および打刻処理が実行される。
80	なりすまし対策(事業者サイド)	必須	勤怠打刻特化型IoT端末およびユーザー様管理者が、PC設置場所であるユーザー様オフィス内からのみアクセス許可とすることでクローズなネットワークを構成。事業者サイトへのログインも上記項目78の施策によりガードされている。	
81	暗号化対策	必須	有り。 ・サーバおよび打刻端末機器に保存されている静脈データは暗号化の上保存される。静脈暗号化方式はAES(暗号鍵長 128bit以上)	
82	その他セキュリティ対策	選択	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策等)	
-	提供端末	端末が複数ある場合は、端末ごとに記述する		
83		機器の種類、製品名など	必須	「CTNタイムレコーダー」 ※下記の2タイプ有り ①Type-A(セパレートタイプ) →任意のwindowsPCに、弊社提供の静脈認証センサーをUSB接続して使用する形式 (※PCと静脈センサーを接続することで、後述の一体型機材Type-Bと同様の使用が可能となる) ②Type-B(オールインワンタイプ) →windowsPC(タブレット)と静脈認証センサーをあらかじめ筐体に組み込んだ一体型機材として弊社から提供する形式

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(8/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
84	IoT機器(センサー、アクチュエータ)	主な機能		手のひら静脈認証による勤怠打刻および打刻人員/打刻データ管理	
		セキュリティレベル、認証取得状況など		認証等の取得無し。	
		接続条件	接続数、設置場所などの制約	必須	※以下、Type-A、Type-B共通 1. 温度環境: 0~60°C 2. 照明環境 2-1. 本人認証時 ・自然光(太陽光): 3000ルクス以下 ・蛍光灯またはLED照明: 3000ルクス以下 ・白熱灯またはハロゲン灯: 700ルクス以下 2-2. 静脈データ登録時 ・自然光(太陽光): 2000ルクス以下 ・蛍光灯またはLED照明: 2000ルクス以下 ・白熱灯またはハロゲン灯: 500ルクス以下
		使用条件	目的外使用の禁止など	必須	※以下、Type-A、Type-B共通 目的外の使用禁止
		ソフトウェア	組み込みソフト	必須	※以下、Type-A、Type-B共通 無し。
		物理的セキュリティ	盗難防止策など	必須	①Type-A →特に施策無し ②Type-B →盗難防止チェーンのよる一体型機材の固定
		保守・管理	保守体制、管理手法など	必須	※以下、Type-A、Type-B共通 ・当社サポート部門が一次受け後、即座にCTN開発チームもしくはインフラチームへ伝達。これら全ての要員は当社本社オフィスに勤務する当社社員で構成されている。 ・各端末機にインストールされているリモートアクセスツールにより、遠隔地リモートサポートが可能 ・端末機ハードウェアレベルの故障に関してはセンドバックまたはオンサイトにて対応。
		セキュリティ対策	IoT機器のセキュリティ対策(初期パスワードの変更、OS等の最新化、エッジコンピュータ、ゲートウェイの導入など)	必須	※以下、Type-A、Type-B共通 ・勤怠打刻の都度、自動認証処理が実行される。正常に認証された場合にのみ勤怠時間の打刻が行われる。(この認証処理を含めた打刻処理全体で約2秒以内のレスポンスを実現している) ・勤怠打刻の個人特定手段は生体認証(手のひら静脈認証)。 ・打刻対象者それぞれの静脈パターンは全て暗号化。
		90	機器	機器の種類、製品名など	必須
主な機能	該当なし				
セキュリティレベル、認証取得状況など	該当なし				
91	GW/エッジコンピュータなど	接続条件	接続数、設置場所などの制約	必須	該当なし
92		使用条件	目的外使用の禁止など	必須	該当なし
93		物理的セキュリティ	盗難防止策など	必須	該当なし
94		保守・管理	保守体制、管理手法など	必須	該当なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。



ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(9/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
-	推奨端末			
95	PC等 (操作端末)	パソコン、スマホ、タブレット、シンクライアント等の 端末の種類、OS等	必須	・管理端末として使用。 Windows10が稼働するPC。
		利用するブラウザの種類		Google Chromeを推奨
96	IoT機器(センサー、 アクチュエータ)	機器の種類、製品名など	必須	該当なし
		主な機能		該当なし
		セキュリティレベル、認証取得状況など		該当なし
97	GW/エッジコン ピュータなど	機器の種類、製品名など	必須	該当なし
		主な機能		該当なし
		セキュリティレベル、認証取得状況など		該当なし
-	ハウジング(サーバ設置場所)	データセンターを複数使用している場合は、データ センターごとに記述する		
98	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	専用
99	所在地	国名、日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東 北)	必須	日本(関東地域)
		特筆すべき立地上の優位性があれば記述(例: 標 高、地盤等)	選択	
100	耐震・免震構造	耐震数値	必須	IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。当項目は非公開です。
		免震構造や制震構造の有無		IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。当項目は非公開です。
101	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、「有り」の場合は 電力供給時間	必須	有: IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しており、UPSを冗長構成で備えています。 電力供給時間は非公開です。
102	非常用電源設 備	給電ルート	必須	IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。電源は2回線以上から引き 込み、停電時でも継続して稼働できるよう、自家発電設備及び、 UPSを冗長構成で備えています。
103	非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、「有り」の場合 は連続稼働時間の数値	必須	有: IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。連続稼働時間は非公開で す。
104	消火設備	サーバールーム内消 火設備	必須	有: IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。ガス系消火設備は非公 開です。
105		火災感知・報知シス テム	必須	IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。当項目は非公開です。
106	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。当項目は非公開です。
107		誘導雷対策	必須	IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウド サービス(ニフクラ)を使用しています。当項目は非公開です。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(10/10)

認定番号: IoT0003-2003, サービス名称: CORRECT TIME NAVI(コレクトタイムナビ), 事業者名称: ユニテックシステム株式会社

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
108	空調設備	空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	必須	IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウドサービス(ニフクラ)を使用しています。サーバーールームの空調は専用となり、温度、湿度は自動制御の上、24時間365日での監視を実施しています。
109	入退室管理等	入退室記録の有無と、「有り」の場合はその保存期間	必須	有: IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウドサービス(ニフクラ)を使用しています。保存期間は非公開です。	
		監視カメラの有無		IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウドサービス(ニフクラ)を使用しています。当項目は非公開です。	
		個人認証システムの有無		有: IaaS環境として富士通クラウドテクノロジーズ株式会社のクラウドサービス(ニフクラ)を使用しています。厳格な本人認証の上、持ち込み品の制限、記録の取得などの入退室管理を行っています。	
110	セキュリティ 媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	選択		
		保管管理手順書の有無			
111	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	敷地内への不法侵入、破壊行為などの人為的災害については、柵、フェンス、監視カメラ、赤外線センサーなど複数の手段によって侵入防止と監視を実施しています。サーバーールームは独立した無窓の部屋であり、外部からの容易な侵入ができないようになっています。また、ニフクラとの関連が識別可能な表示は行っていません。	
-	サービスサポート				
112	サービス窓口 (苦情受付・問合せ)	連絡先	電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	ユニテックシステム株式会社Naviサポートセンター E-MAIL: navi-faq@uts-corp.co.jp 【東京】TEL: 03-3837-5675 FAX: 03-3837-5469 【大阪】TEL: 06-6838-3580 FAX: 06-6838-3540
		代理店連絡先の有無と、「有り」の場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先	必須	無し	
113	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	ユニテックシステム株式会社Naviサポートセンター 受付時間: 9:30~12:00/13:00~18:00 (土、日、祝日及び弊社休日を除く)	
114	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	インシデントおよび使用方法問い合わせについて、下記のシステム範囲におけるサポートを行う。サーバ側: アプリケーション/OS/DB/仮想サーバ ネットワーク: WANおよびサーバ側LAN部分 打刻端末: アプリケーション/OS/ハードウェア	
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、オンサイト、リモートログイン	
115	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期(1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	少なくとも1か月前。ただし進行中プロジェクトのスケジュールが優先される。	
		告知方法	必須	電子メール、電話、各種会議体	
116	サービス通知・報告・インシデント対応	障害・災害発生時の通知	必須○	障害発生時の通知: 有り 通知方法: 電子メール、電話	
117	セキュリティ・インシデント対応	セキュリティに関するインシデントが発生した場合の対応(通知、被害の拡大防止、暫定対処、本格対処など)	必須	一次検知がエンドユーザの場合: 当社サポートまたは顧客担当へ電子メール、電話のいずれかまたは両方にて通知。通知後は当社インシデントフローに従い対処を実施。 一次検知が当社の場合、当社インシデントフローに従い即時対処を実施。	
118	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	エンドユーザとの契約により、告知義務が存在する場合は使用状況レポート等を提出する。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。